

決算報告

平成18年度

西条市の一般会計、特別会計、企業会計

財政状況をお知らせします

決算のごあいさつ



西条市長
伊藤宏太郎

平成18年度の西条市の決算がまとまりましたので、お知らせします。

一般会計の決算額は、歳入39億7,846万円、歳出37億4,813.9万円、差し引き23億3,211万円の剰余(余り)となっております。このうち翌年度へ繰り越した事業に充てるための財源57.9万円を除いた実質収支では、22億9,742万円の黒字となっております。

各特別会計の決算状況やその

概要は、別記(4ページ)のとおりとなっております。

平成18年度は、引き続き実施された国の「三位一体改革」に伴う国庫補助負担金等の減額などから非常に厳しい財政環境の中ではありませんでしたが、限られた財源を効果的に活用し、知恵と工夫を生かした施策の展開に努め、地域全体の均衡ある発展や「合併してよかった」と思えるまちづくりの推進に向けて、各種事業を精力的に実施してまいりました。

今後とも、効率的な行財政運営に心がけ、「西条パワー」を生み出すための「ひとづくり」「しくみづくり」をより一層推進し、元気と魅力あふれる都市の実現に向けて積極的に取り組んでまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

予算・決算とは？

予算とは、1年間の収入(歳入)と支出(歳出)に関する見積りをまとめた「計画」のことです。決算とは、実際の収支をまとめた「実績」に当たります。

市の会計は3種類

一般会計

福祉や教育、道路整備など、市政運営の基本となる会計です。

特別会計

国民健康保険や介護保険など、一般会計と区分する必要がある特定事業の会計です。

企業会計

企業経営という観点から、独立して経理する会計です。

※本文中の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

市民1人当たりの計算は、平成19年3月31日現在の人口(115,614人)を基にしています。

平成18年度の主な事業



西消防署庁舎建設事業



産業学習館整備事業(食の創造館)



西条駅前干拓地線改良事業



12歳教育推進事業

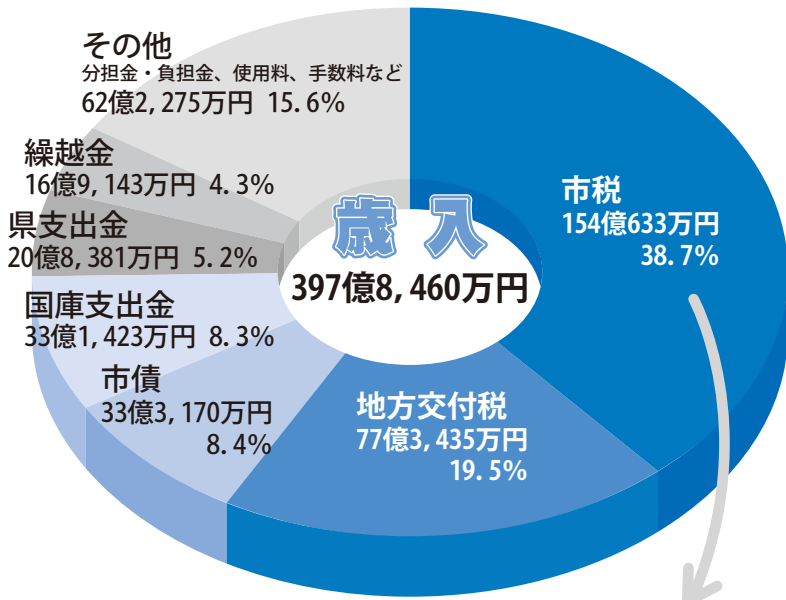
平成18年度一般会計 決算額

予算額 394億8,135万円

歳入 397億8,460万円

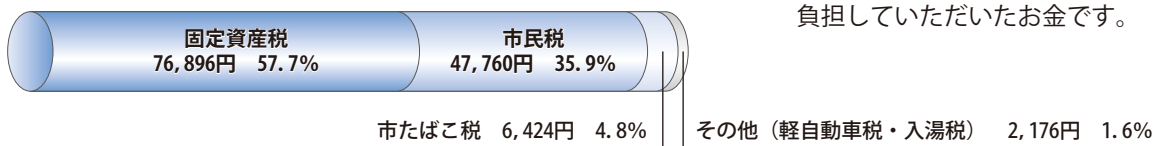
歳出 374億8,139万円

- 歳入歳出差引額（歳入－歳出） 23億 321万円… A
- 平成19年度へ繰り越すべき財源 579万円… B
- 実質収支額（A－B） 22億9,742万円

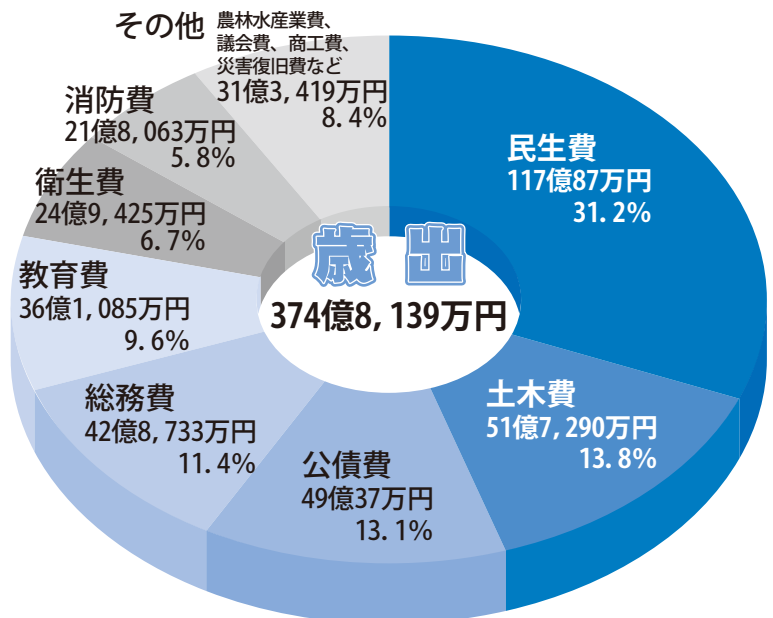


- 市税：市民税や固定資産税など、市民の皆さんに納めていただいたお金です。
- 地方交付税：市の財政状況に応じて国から交付されたお金です。
- 市債：特定の事業を行うために、国などから借り入れたお金です。
- 国庫支出金：特定の事業を行うために国から交付された負担金、補助金などのお金です。
- 県支出金：特定の事業を行うために、県から交付された負担金・補助金などのお金です。
- 繰越金：前年度から持ち越された剰余金のことをいいます。事業を持ち越すことで必要になったお金も含まれます。
- 分担金・負担金：市の事業で特定の利益を受けた人に負担していただいたお金です。
- 使用料・手数料：市の施設の使用や、住民票の交付など、特定の行政サービスを受けた人に負担していただいたお金です。

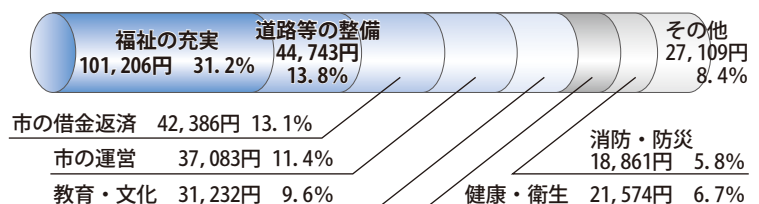
▼市民1人当たりの税負担 133,256円



- 民生費：社会福祉や医療助成など、安定した社会生活を保障するために使ったお金です。
- 土木費：道路、河川、公園、市営住宅などの整備や維持管理に使ったお金です。
- 公債費：国などから借入れたお金（市債）の返済などに使ったお金です。
- 総務費：市庁舎の維持管理や戸籍、徴税、選挙、監査事務など市の総括的な事務に使ったお金です。
- 教育費：幼稚園や小中学校、社会教育や保健体育など、教育各般に使ったお金です。
- 衛生費：健康診断や各種検診、ごみ処理など、健康で衛生的な生活環境を保つために使ったお金です。
- 消防費：消防や救急活動に使ったお金です。
- 農林水産業費：農業、林業、水産業の振興に使ったお金です。
- 議会費：議会の運営などに使ったお金です。
- 商工費：商工業の振興や観光の振興などに使ったお金です。
- 災害復旧費：災害によって道路や農地、山林などに生じた被害を復旧するために使ったお金です。



▼市民1人当たりに使われたお金 324,194円 ▼



平成18年度特別会計 決算額

会計区分	予算額	歳入	歳出	差引(歳入-歳出)
国民健康保険	124億9,079万円	122億5,021万円	118億8,764万円	3億6,257万円
老人保健	136億2,793万円	130億8,264万円	130億8,264万円	0円
介護保険	84億9,507万円	83億6,284万円	81億1,429万円	2億4,855万円
うち介護保険事業勘定	81億4,109万円	79億9,397万円	78億177万円	1億9,220万円
うち介護サービス事業勘定	3億5,398万円	3億6,887万円	3億1,252万円	5,635万円
簡易水道事業	2億2,501万円	2億2,123万円	1億4,620万円	7,503万円
公共下水道事業	52億9,813万円	46億959万円	45億7,897万円	3,062万円
小規模下水道事業	6,695万円	6,254万円	6,254万円	0円
港湾上屋事業	565万円	565万円	543万円	22万円
ひうち地域振興整備事業	6億2,045万円	6億517万円	1億8,432万円	4億2,085万円
土地開発事業	201万円	201万円	201万円	0円
小松地域交流事業	2億7,158万円	2億6,369万円	2億6,369万円	0円
本谷温泉事業	3,908万円	3,748万円	3,748万円	0円
住宅新築資金等貸付事業	3,928万円	3,882万円	3,882万円	0円
畑地かん水事業	3,793万円	1,935万円	713万円	1,222万円
庄内財産区	817万円	478万円	438万円	40万円
壬生川財産区	700万円	663万円	541万円	122万円
合計	412億3,503万円	395億7,263万円	384億2,095万円	11億5,168万円

平成18年度企業会計 決算額

水道事業会計		病院事業会計	
収入(収益)	7億9,331万円	収入(収益)	31億6,268万円
支出(費用)	7億4,481万円	支出(費用)	38億5,289万円
差引(収入-支出)	4,850万円	差引(収入-支出)	△6億9,021万円
企業債の現在高	69億839万円	企業債の現在高	30億2,517万円

市の借金(市債現在高)

会計区分	現債額
一般会計	461億524万円
特別会計	271億1,802万円
介護保険	2億1,061万円
うち介護保険事業勘定	1億4,009万円
うち介護サービス事業勘定	7,052万円
簡易水道事業	10億850万円
公共下水道事業	236億4,390万円
小規模下水道事業	1億7,243万円
ひうち地域振興整備事業	9億6,529万円
小松地域交流事業	9億2,208万円
本谷温泉事業	1億26万円
住宅新築資金等貸付事業	9,495万円
合計	732億2,326万円

市の財産(市有物件)

土地	2,905万6,009 平方メートル
建物	51万7,711 平方メートル
基金	78億3,751 万円
有価証券	1,774 万円
出資金	1,953 万円
債権	6億8,966 万円

決算報告の詳しいお問い合わせは

市庁舎本館財政課 財政第2係
TEL0897-52-1271